

## 「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	名張公民館
開催日	9月18日（木）	開催時間	19：30～21：00 （1時間30分）
参加者数	約30名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【19：35～19：50】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：55～20：30】

・ 質疑【20：30～21：00】

Q（参加者） 先日、区長会で、静岡県掛川市を見学した。掛川市は、人口が名張市よりも3千人程少ないにもかかわらず、東海道新幹線・東名高速道路・国道1号線などの日本の大動脈が市の真ん中を通っているの、単純な比較はできないけれども、掛川市では人の嫌う施設であっても、設備が良くなっていて、害がないということで、市役所の隣に建設されている。焼却場も市役所の隣に建設されている。名張市でもそのようにしたらどうか？

また、名張市の観光は赤目滝ぐらいしかないが、名張藤堂家邸などの地域資源を活かして、観光客に来てもらうことも必要である。先日、島原の武家屋敷を見学したところ、立派な武家屋敷であったが入場料は無料であった。名張藤堂家邸も入場料を無料にしてはどうか？また、駐車場に観光バスを止めてもらって、名張藤堂家の菩提寺である徳蓮院の石碑を観てもらってはどうか？

A（市長） 掛川市長とは、前三重県知事を介して、懇意にさせてもらっています。生涯学習のまちづくり、スローライフ構想といったユニークな発想をお持ちの市長です。

新清掃工場を市役所の隣にというお話しですが、今となってはちょっと...別の事業等も考えておりますので、これについては難しいと思います。

地域資源を活かしたまちづくりについては、まさにこれからすすめていただくことであります。江戸川乱歩の生誕地や名張藤堂家邸、徳蓮院などの地域資源を活かしたまちづくりをしていきたいと思っております。

A (総合企画室長) 地区別まちづくりの方向でもそういったことを書かせていただいています。名張地区には「名張の原風景」や歴史資源・文化資源があり、これをいかに活用していくかということが、名張地区の発展のポイントになると思われます。例えば、これから公共下水道の工事が行われますが、ただ単に穴を掘って、埋め戻すというだけで良いのかということですが、名張の良さを活かす計画と一緒に考えていただくことで、公共下水道事業とともに、まちづくりを行うというもできると思います。一挙に道路を建設するというのではなく、皆さんと一緒にどうすればよいか考えることが大切だと思いますので、色々な面でご指導いただきたいと思いますし、総合計画には反映させていただきたいと思います。

Q (参加者) 財政難という状況は理解できるが、産業の誘致による若者定着といった財政を産む計画は考えていないのか？

A (市長) 御指摘のとおり、儉約だけではなく、積極的に企業誘致や新しい税を産むしくみを考えていかなければなりません。企業誘致については、今もってないわけですが、名張の企業の中にも元気になりつつある企業がありますので、これに対する支援に取り組んでいるところで、大きな課題だと思っています。

A (総合企画室長) これからの名張の元気や若者の定着を考えていくにあたり、名張の立地条件などから考えると従来からのやり方では難しいところがあると思います。名張に何があるのか、名張の特質は何かということ徹底的に考えていく必要があると思います。暮らしのまちとしての魅力を掲げて、磨き、高めていくことが、若者の定着につながっているのではないかと思います。また、逆に福祉の充実が若者定着に関係ないということではなく、事業所統計では製造業の従業者が減少していますが、医療・福祉・教育の従業者は増加しています、こういったことが若者の定着につながっているのではないかと思います。ひとつの答えで解決できることではありませんが、暮らしのまちとしての魅力を高めていくこと、心の豊かさを実感できるまちを創ることが大切だと考えています。また、色々なご意見やご提案をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

Q (参加者) ゆめづくり地域予算の用途はソフト面が主となっている。地区別まちづくりの方向に大きな違いはないが、実行していくにあたり、ハードの予算が必要になるのではと思うが、いつ頃をメドに考えているのか？

A (市長) ゆめづくり地域予算はソフト面が主で、ハード面まではまわらないと思います。協働、協働といっても、協働できる部分とできない部分があり、ハード事業は、主として行政が責任をもって取り組まなければならない分野もあると思っています。ハード事業にかかる数値目標についても、現在検討しているところです。

Q (参加者) 先日、商工会議所で「オールドタウン夢トーク」を開催したところ、80名の参加により3時間の意見交換が行われて、総合計画(素案)でまとめてもらっているような話が多く出された。ソフト・ハードともに、実践するためには、スローだけではなく、スピードも必要なのではないか？

後継者の育成のためには、夢のあるビジョンを提示する必要があるのではないかと？

名張地区活性化のために、いかにして住宅地や赤目滝・香溪谷の観光客に足を運んでもらうのかということが必要だと思う。民間と行政が協働でやらなければならないこともある。国の方では、PFIが推奨されているようなので、名張市でもこの手法を検討してはどうか？実現できる計画づくりが必要である。

A(市長)地域のヤル気をどう支えるかが、大切だと考えています。PFIは有効な手段だと思っています。商工会議所の取り組みは面白いと思っていますので、今後、ワークショップなどにより、何とかしていきたいと思っています。

A(総合企画室長)まちづくりの方向は抽象的になっていますので、参考にさせていただいて、まちづくりのビジョンを策定いただきましたら、総合計画に反映した上で、市の計画として事業実施したいと思います。リーディングプランという形で、重点化した事業を掲げています。これまで、市の策定したプランは、協働していないということや住民主役でなかったということから、実行されていないものがたくさんありますので、一緒になって乗り越えていくのが今回だと思っています。

Q(参加者) 地産地消の取り組みとして、学校給食などに地元産の米や野菜を使用しているかどうか？

東南海地震をはじめ、水害・土砂災害などの対策はどうか？

A(市長) 地産地消の取り組みは徹底的に進めていきたいと思っておりますので、学校給食については、地産地消のモデル地区を指定したり、前倒しで取り組んでいます。今年度から、「みえのえみ」から「伊賀米」に変更しました。これは、スローの考えにも繋がるものです。

東南海地震については、昨日、対策は推進地域の指定が発表されたところ、三重県下69市町村のうち、伊賀町を除く伊賀6か市町村と美杉村が予想震度5ということで、指定地域から外されました。市町村合併が行われると、指定地域でないのは名張市だけとなります。さらに、山津波などの土砂災害も懸念されることから、復活に向けて、昨日早速に担当者を県に出張させました。また、国に対しても県とともに復活に向けて働きかける考えです。計画については、準備しているところです。

また、具体的になってきたら、貴重なご意見をお願いしたいと思います。(市長)

## 5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきますようによろしく申し上げます。(司会)